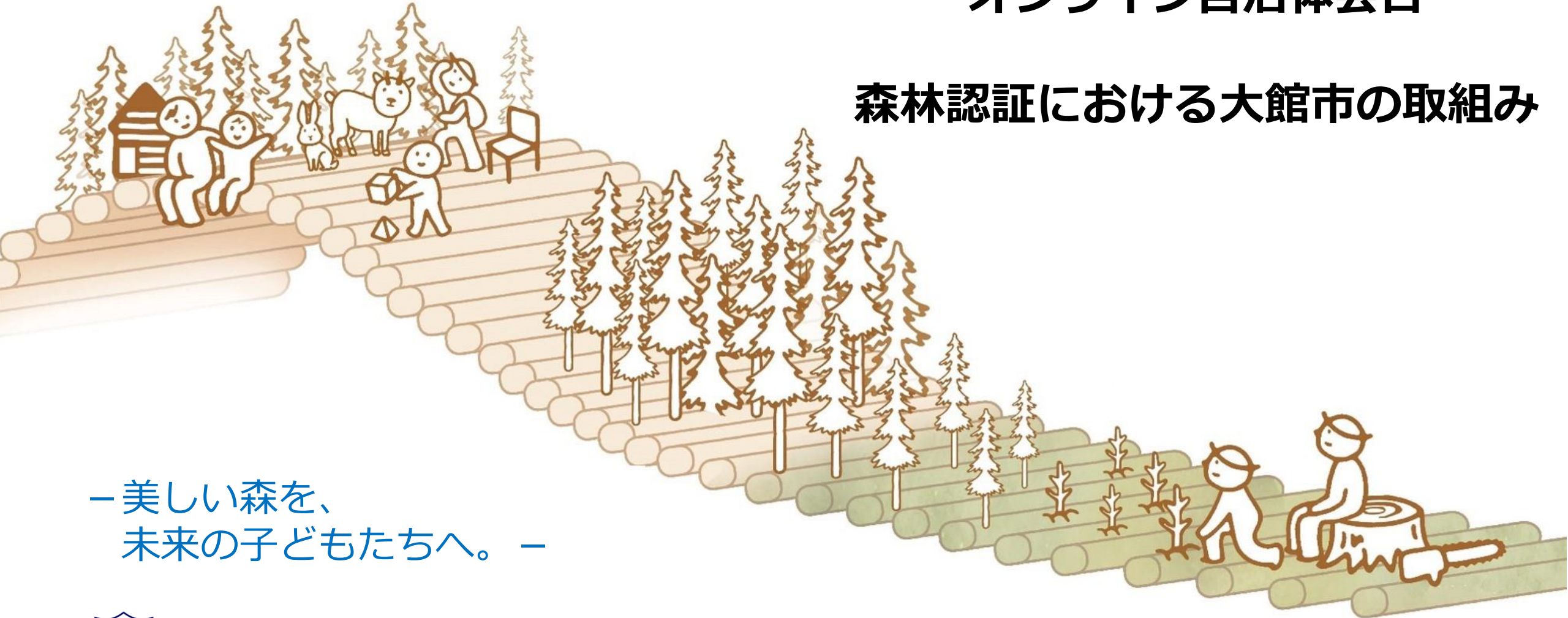


オンライン自治体会合

森林認証における大館市の取組み



—美しい森を、
未来の子どもたちへ。—

 秋田県大館市

令和7年1月27日

 北鹿地域
林業成長産業化協議会

大館市産業部林政課木材産業係
主任 加賀谷 洋昌

大館市は、森林認証
SGEC-FM（グループ認証）
を取得しています



SGEC/31-22-1507

秋田県大館市の概要

特別史跡「大湯環状列石」
(鹿角市)



世界文化遺産
「北海道・北東北の縄文遺跡群」



史跡「伊勢堂岱遺跡」
(北秋田市)

世界自然遺産
「白神山地」 (秋田県・青森県)

一級河川「米代川」

白神山地

大館市

▶ 2つの世界遺産を抱く北東北の中心に位置

▶ 日本三大美林の一つ「秋田スギ」の主要産地

▶ 市全体面積の約8割が森林



市長

副市長
理事

産業部

総務部

市民部

福祉部

建設部

観光交流スポーツ部

教育委員会その他

林政課

農政課

商工課

木材産業係

森林整備係



令和2年度「林政課」新設：総勢16名体制で林政を推進（令和7年1月現在）



おおだてきたあきた

大館北秋田地域
林業成長産業化協議会



ほくろく

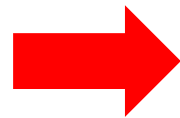
北鹿地域
林業成長産業化協議会

35会員

<2017年度~2021度>

- ・森林組合 (1)
- ・素材生産事業者 (12)
- ・苗木生産者 (2)
- ・製材・加工事業者 (8)
- ・木質バイオマス事業者 (3)
- ・木材流通事業者 (1)
- ・学識経験者 (1)
- ・行政機関 (7)

増加!

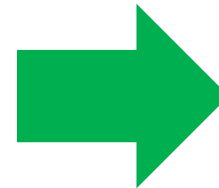


76会員

<2022年度>

- ・森林組合 (1)
- ・素材生産事業者 (13)
- ・苗木生産者 (7)
- ・製材・加工事業者 (7)
- ・木質バイオマス事業者 (4)
- ・木材流通事業者 (2)
- ・学識経験者 (1)
- ・行政機関 (7)
- ・教育機関 (1)
- ・住宅事業者 (14)
- ・建築設計関係者 (12)
- ・家具・工芸事業者 (5)
- ・IT・ICT関連事業者 (2)

増加!



97会員

<2023年度~>
2025年1月現在

- ・森林組合 (2)
- ・林業経営者 (17)
- ・苗木生産者 (9)
- ・木材加工事業者 (13)
- ・木質バイオマス事業者 (4)
- ・木材流通事業者 (4)
- ・学識経験者 (1)
- ・行政機関 (7)
- ・教育機関 (1)
- ・住宅・建築事業者 (12)
- ・設計事業者関係者 (13)
- ・家具・工芸事業者 (6)
- ・IT・ICT関連事業者 (2)
- ・精油生産者 (1)
- ・金融機関 (5)



- ★会費 無料
- ★総会 年1回開催
- ★事務局 大館市産業部林政課

＜協議会アドバイザー＞
秋田県立大学木材高度加工研究所

森林認証材
S C構築WG



森林認証材
S C構築P T

民国連携
推進WG

非住宅木造・
木質化推進WG

地域内エコ
システム推進WG

会長・副会長

会長・副会長 各1名

会計監事

会計監事 2名

幹事会
(幹事)

幹事10名、年1～2回開催

連絡会議
(全会員)

全員参加、年2～3回開催

個別の課題解決や事業推進を図るため協議会内にワーキンググループ（WG）またはプロジェクトチーム（PT）を設置
⇒現在、3つのWGと1つのPTを設置

森林認証に関する取り組み

協議会「森林認証材サプライチェーン構築PT」の設置（2024年5月）【2024.5月更新】

●「森林認証材サプライチェーン構築PT」設置の目的と目標

<目的>

協議会関係者との連携によるマーケットイン型の森林認証材サプライチェーンの構築を目的に、課題整理や取組内容の検討及び森林認証材の安定供給のため。

<目標>

- ・ 本地域における森林認証林の拡大と森林認証材の供給体制の構築
- ・ 秋田県産森林認証材の需要拡大と都市部や地元公共施設等での利用促進

●森林認証材サプライチェーン構築PTメンバー（2024年5月現在）

川上

- ・ 大館北秋田森林組合
- ・ (株)石川組（約463ha／SGEC-FMグループ）
- ・ (有)伊東農園（約209ha／SGEC-FMグループ）
- ・ 古河林業(株)阿仁林業所
（約4,153ha／SGEC-FMグループ）
- ・ 鹿角市（約777ha／SGEC-FM単独）
- ・ 小坂町（約128ha／SGEC-FMグループ）
- ・ 大館市（約2,342ha／SGEC-FMグループ）

川中・川下・その他

- ・ (株)沓澤製材所（SGEC-CoC）
- ・ 藤島木材工業(株)・藤島林産(株)（SGEC-CoC ほか）
- ・ K S ウッドソリューション(株)
- ・ (株)長谷川萬治商店（SGEC-CoC）
- ・ 物林(株)（SGEC-CoC ほか）
- ・ (株)恒谷汲川建築設計事務所
- ・ 東光コンピュータ・サービス(株)

森林認証に関する取り組み

森林認証に関する協議会のこれまでの取り組み内容

<平成29年度>

●森林認証に関する勉強会（H30.3月）開催

⇒森林認証制度全般についての勉強会（講師：（一社）日本森林技術協会）を開催

<平成30年度>

●先進地視察研修 静岡県浜松市（H30.11月）

⇒FSC認証材の需要拡大に関する取り組みについて視察研修（浜松市、天竜森林組合）を実施

<令和2年度>

●都市部における木材利用に関するアンケート調査（R2.9月）

⇒都市部企業を対象にアンケートを実施、調査項目として「森林認証材利用」を設定

<令和4年度>

●林野庁補助事業「建築用木材供給強化促進事業のうち森林認証材の需要拡大」採択

⇒関係者との連携によるマーケットイン型の森林認証材SC構築に向け、以下の取り組みを実施

- ・ワーキンググループ開催（1回目/R4.8月、2回目/R5.3月）
- ・先進地視察（北海道地域（胆振東部森林管理署ほか）/R4.8月、宮城県登米地域/R5.3月）
- ・WEBセミナー開催（講師：（一社）緑の循環認証会議/R5.2月）
- ・需要者ヒアリング（東京都/R5.2月、秋田市/R5.3月、宮城県仙台市/R5.3月）

森林認証に関する取り組み

協議会（森林認証材SC構築WG）における森林認証の拡大に向けた動き【まとめ】

① 協議会においてSGEC-FM森林認証グループ認証（約3,142ha）を取得

・大館市有林（約2,342ha）、小坂町有林（約128ha）、(株)石川組社有林（約463ha）、(有)伊東農園（約209ha）で令和5年11月15日付けでSGEC-FM森林認証グループ認証を取得

② 鹿角市においてSGEC-FM森林認証（約777ha）を取得

・鹿角市有林（約777ha）で令和5年11月8日付けでSGEC-FM森林認証を取得

③ 令和6年度も森林認証を更に拡大

- ・(株)長谷川萬治商店において、SGEC-CoC森林認証を取得
- ・古河林業(株)阿仁林業所（約4,153ha）がSGEC-FM森林認証グループ認証に参画

④ 国有林（米代東部森林管理署/約8.9万ha※3市町分）への森林認証取得要望状況

■ 令和4年度：大館市要望に対する回答（抜粋）

・国有林においては、地域において認証材の流通拡大を図る方針があり、取り組むことが不可欠である場合等に限り、地域の要請を踏まえ、地域の民有林と連携して認証を取得している。静岡県浜松市の認証取得事例（天竜森林管理署）を確認いただいた上で協議をお願いしたい。

■ 令和5年度：大館市・鹿角市・小坂町の2市1町要望に対する回答（抜粋）

・国有林においては、～（以下、令和4年度と同じ）。北海道森林管理局網走西部森林管理署や網走中部森林管理署、網走南部森林管理署、関東森林管理局天竜森林管理署での森林認証取得事例を確認いただいた上で協議をお願いしたい。

北鹿林成協における森林認証（SGEC-FM）グループ認証林の拡大

※SGEC/31-22-1507

- 認証日** 令和6年11月27日
- 認証面積** 7,328.36ha（グループ／5メンバー）
- 認証種類** FM（Forest Management）認証
- 認証機関** 公益財団法人日本適合性認定協会（JAB）
- 審査機関** SGSジャパン株式会社
- 審査日** 令和6年10月29日～11月1日



◀ 現地審査

書類審査 ▶



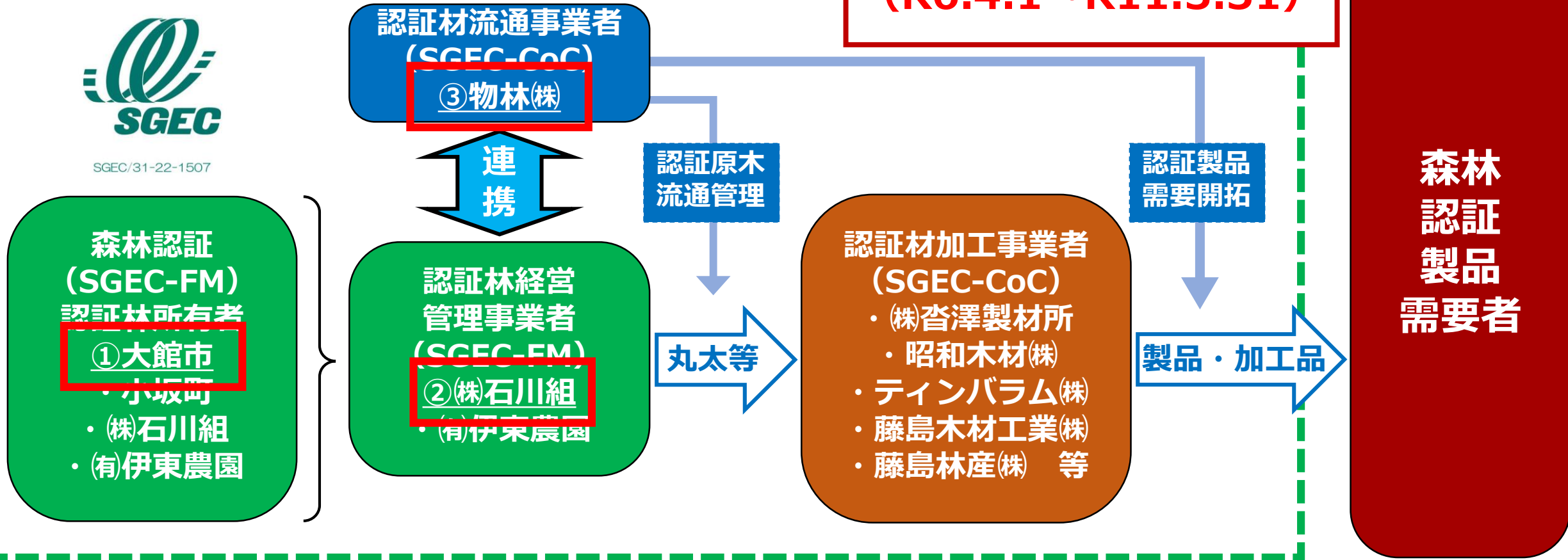
▶ 評価される観察事項（認証審査クロージングミーティングにて）

- 大館市の単独認証からわずか2年で地域をけん引するグループ認証となり、これまでの事務局の取り組みは大きく評価される。
- 協議会では「森林認証林の施業及び森林認証材の販売に係る協定書」の締結により、認証林からの認証原木をCoC事業体に繋がるよう取組み、また合板会社への認証原木の安定供給体制の構築も進められており、その成果が期待される。

グループ森林管理認証主体（または協定調整機関）

④北鹿地域林業成長産業化協議会

4者協定締結
(R6.4.1~R11.3.31)

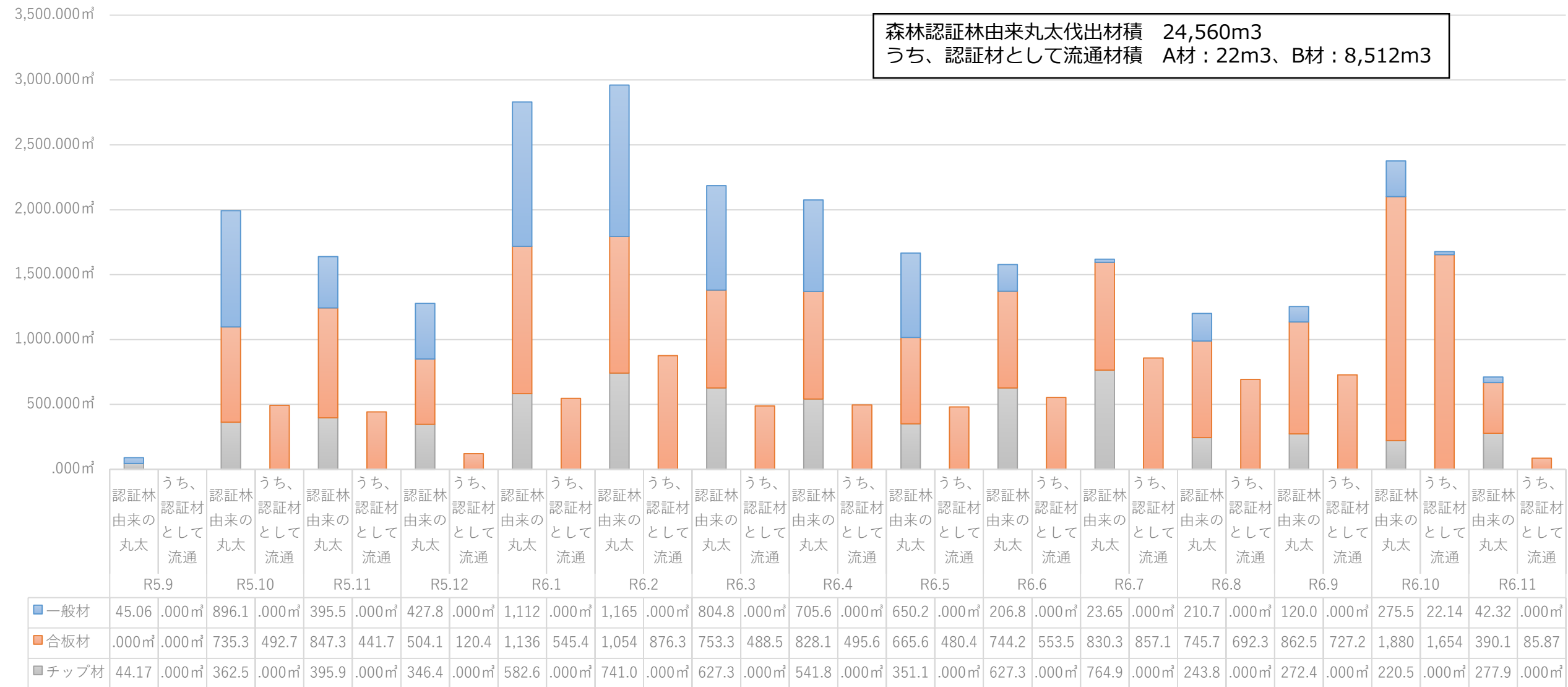


施業集約化等によるスケールメリットや素材生産量の確保の観点から森林認証（SGEC）を取得している会員と「森林認証林の施業及び森林認証材の販売に係る協定書」を令和6年4月1日に締結。認証材として確実に流通させるため、FM認証取得会員に加え、CoC認証を取得している流通区分の林成協会会員を協定者として設定。

森林認証に関する取り組み（供給実績）

森林認証林由来丸太伐出及び流通実績 <令和5年9月～令和6年11月>

森林認証林由来丸太伐出材積 24,560m³
 うち、認証材として流通材積 A材：22m³、B材：8,512m³



■チップ材 ■合板材 ■一般材

森林認証DLT商品開発・生産拠点創出〈顔見え事業（林野庁）〉

森林認証林由来の地域産材
DLT商品開発及び
DLT地域生産拠点の創出

①森林認証林由来の地域産材DLT商品開発事業

- 事業概要：ラミナ及び木ダボを森林認証林由来の地域産材（針葉樹ラミナ、広葉樹木ダボ）へ転換することによるトレーサビリティが確保されたDLT試作・商品開発

②ALL地域産材DLT商品プロモーション事業

- 事業概要：地域産材使用DLT商品の展示会出展及びPR活動
- ターゲット：都市部の設計事務所、建設会社、建築主 など

③DLT地域生産拠点創出事業

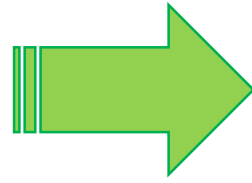
- 事業概要：木製簡易ジグ試作、DLT試作、木ダボ試作、構造試験・検証、**地域拠点確立に向けたトライアル**
- 事業目的：DLT地域生産拠点の確立に向けたトライアルを実施し、DLT普及促進及びDLT製造におけるサプライチェーンの完結を目指す。

森林認証DLT家具サプライチェーン構築〈顔見え事業（林野庁）〉

※SGEC/31-22-1507



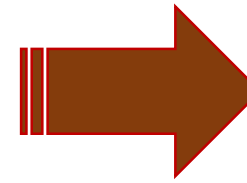
広葉樹丸太



※伝票等に認証番号及び「100%SGEC認証材」であることを記載



広葉樹ラミナ



※全加工工程で記録及び分別管理が必要

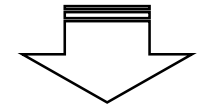


木を守る。木を生かす。

HASEMAN

SGEC-CoC認証

※加工、分別管理及びラベリング取得



最終消費者

北鹿地域
林業成長産業化協議会

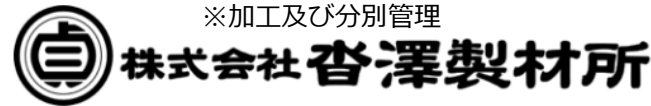


SGEC-FM認証

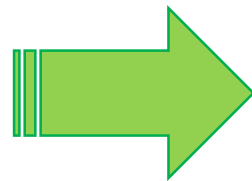


SGEC-CoC認証

※加工及び分別管理



秋田スギ丸太



※伝票等に認証番号及び「100%SGEC認証材」であることを記載



秋田スギラミナ

森林認証DLT家具〈顔見え事業（林野庁）〉



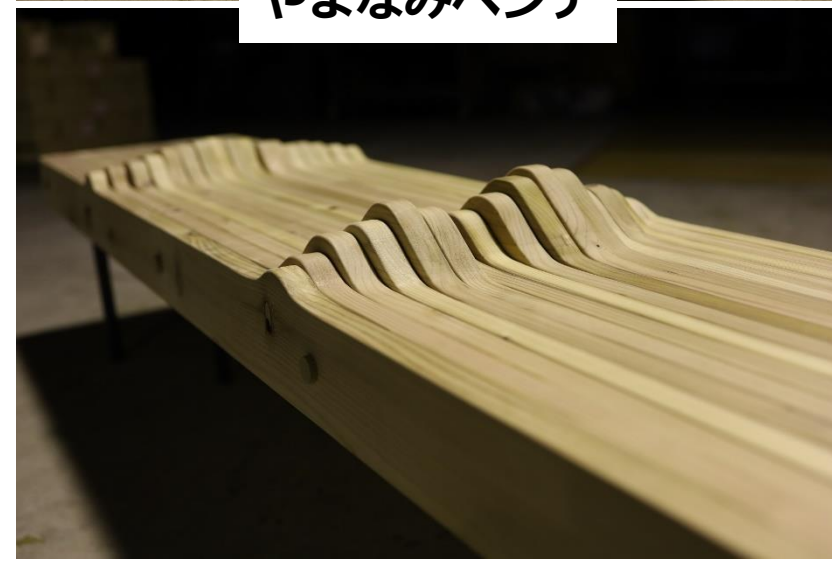
やまなみベンチ



とわだベンチ



ラウンジソファ



R06.12.19~20 モクコレ2024Plusへの出展〈顔見え事業（林野庁）〉

※SGEC/31-22-1507

国内初！SGEC認証DLTサプライチェーン

■製材

株式会社沓澤製材所

JIA-SGEC-COC-040



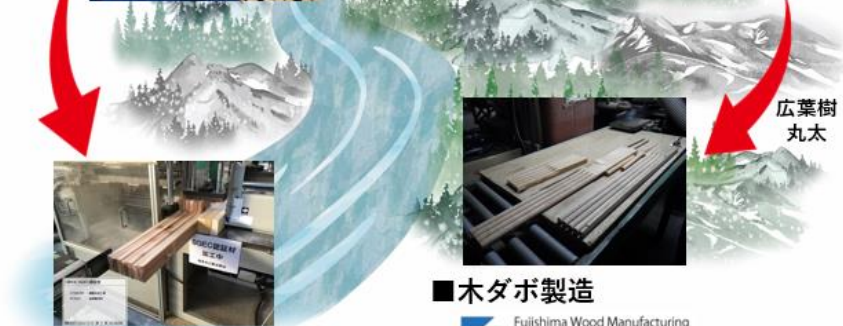
秋田スギ製材

■森林管理

秋田スギ丸太



北鹿地域
林業成長産業化協議会
SGSJP-044



広葉樹丸太

■木ダボ製造

Fujishima Wood Manufacturing
フジシマ
JIA-SGEC-COC-063

広葉樹木ダボ

■DLT製造

木を守る。木を生かす。

HASEMAN

SGSJP-SGEC-COC-185

SGEC認証DLT 事例：



秋田スギDLT



やまなみベンチ



ラウンジソファ



十和田石ベンチ

ブース全体



展示会当日①



認証DLT家具



展示会当日②

伐ったら、植える。
私たちが果たす未来への責務です

